

2016年11月30日

報道関係各位

中部学院大学  
経営学部

大学、JA、自治体、金融機関が連携

## 「美濃白川茶販路拡大のためのビジネスモデルの構築」

### 報告会開催のお知らせ

中部学院大学は、めぐみの農業協同組合（以下 JA めぐみの）、加茂郡白川町、同東白川村と共同研究として、「美濃白川茶販路拡大のためのビジネスモデルの構築」に取り組んできました。このたび、これまでの取り組みの成果について報告会を開催します。学生のプレゼンテーションをはじめ、学生が中心となり開発した「水まんじゅう」と「白川茶アイス・クレープ」の試食会、商品見本の展示、ポスターセッションなどを行います。

このプロジェクトは、本学と JA めぐみのが包括的連携協定を締結したことを受け、ことし4月から始動しました。本学経営学部の安藤信雄ゼミ8名は美濃白川茶の売上回復を目指し、新商品開発や売り方などの開発を行ってきました。具体的には、白川茶販売促進企画の調査を行い、仮想企業を設立。それぞれの会社で自らのアイデアで新商品の開発、ビジネスモデルを企画・立案しました。また十六銀行の協力の下、創業サポートデスクに事業計画書のアドバイスを受けるなど、地方大学、JA、行政、地方銀行が地元の特産品について取り組むという全国でも極めて珍しい産官学でのプロジェクトを進めてきました。

#### 記

- 日時 2016（平成28）年12月7日（水）13時20分～15時
- 場所 中部学院大学各務原キャンパス 大会議室  
（各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600）
- 日程 13:00 受付開始  
13:20 開会の辞（JA めぐみの組合長）  
13:25 取り組みの概要説明、活動報告  
13:35 プレゼン発表（学生4社、各10分）  
14:15 試食タイム&ポスターセッション  
14:30 審査結果発表  
14:35 講評（東白川村長、十六銀行関係者ほか）  
14:55 閉会のあいさつ
- 参加予定者 学生、JA めぐみの関係者、東白川村長 ほか（約50人）

## 【参考】

### ■ 4月の活動

ゼミ学生による「白川茶の普及に関する資料集めと学習」

### ■ 5月の活動

5月7日(土)～8日(日)

白川町にて道の駅ピオチェーレ、白川茶手もみ荒茶製造作業の見学  
東白川村にて「白川茶発祥の地」見学、道の駅茶の里東白川、こもれびの里、「つちのこ館」見学。宿泊地、クオーレふれあいの里にて JA 職員、農家、白川町役場職員、茶商、岐阜県可茂農林事務所職員らとの交流会

### ■ 6月～8月 アイデア新商品およびビジネスモデル構築の提案内容作成

### ■ 9月12～13日

クレープ 試作と配布：ピアチェーレ 54 個、茶の里東白川 47 個

アンケート調査：ピアチェーレ 54 枚、茶の里東白川 47 枚

水まんじゅう 販売：ピアチェーレ 60 個、茶の里東白川 20 個



### ■ 10月

十六銀行創業サポートデスクによる事業計画書の指導  
名古屋市のオアシス 21 にある岐阜県アンテナショップで限定販売

## 【学生企業が発表するアイデア商品およびビジネスモデル提案内容】

企業名（学生名）

#### 1. Next Innovation

「白川茶を原料とした水まんじゅうにより白川茶の普及をめざす」

#### 2. IMKK

「QR コード付きパッケージで白川の魅力を伝えて売上増をめざす」

#### 3. MK

「白川茶アイス・クレープにより若者女性への白川茶の普及をめざす」

#### 4. うすいの会社

「白川茶と美濃焼のセットを考案し白川茶の売上をめざす」

## ■JAめぐみの概要

- ・管内エリア＝関市、美濃市、郡上市、美濃加茂市、可児市、加茂郡（坂祝町、富加町、八百津町、川辺町、七宗町、白川町、東白川村）、可児郡（御嵩町）
- ・組合員数＝59,930人
- ・事業内容＝購買、販売、金融、共済、介護等農協法に定める事業

## ■中部学院大学の概要

大学院、大学4学部5学科、短期大学部2学部1専攻、通信教育部、留学生別科

- ・大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・大学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部  
教育学部子ども教育学科  
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科  
経営学部経営学科
- ・短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）
- ・留学生別科

## 【中部学院大学とJAめぐみの締結】

中部学院大学は2015年11月17日、めぐみの農業協同組合と包括的連携協定を締結しました。岐阜県内でJAと大学が包括協定を締結するのは初めて。また、全国的にみてもJAと大学が連携するのは極めて珍しい取り組みです。

主な内容は、①地域経済、農業の活性化に関すること②高齢者福祉事業に関すること③講演などにおける講師の派遣に関すること④人材の交流、学生育てに関することの4点。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 経営学部 経営学科（担当：安藤 信雄 教授）

TEL:058-375-3600 / 携帯:090-2334-1955（安藤）メール: nobuo@chubu-gu.ac.jp